

厚木高校 模擬国連 活動報告

厚木高校の模擬国連活動は今年で3年目。新たなメンバーで、なんと3年連続「全日本高校模擬国連大会」への出場を決めました！！また、全国規模の大会出場に加え、新たなチャレンジにも試みた2024年度、これまでの活動を振り返りたいと思います。

4月

新入生を迎えるにあたり、多くの人に模擬国連を身近に感じてもらいたいと、新たな試み「厚木横浜国際会議」を開催しました！！横浜国際高校と合同で、新入生向けに簡単な模擬国連会議を体験できるイベントを開催したいと、生徒側から提案があり、実現した企画です。両校合わせて計30名の高校1・2年生が集まりました。



日本模擬国連から大学生講師をお迎えし、模擬国連について詳しい説明を受けた後、「気候変動」について実際に模擬国連会議を実施しました。参加者からは、「模擬国連はハードルが高そうだったけど、詳しい説明でよく理解できて会議も楽しめた。」などの感想がありました。また、運営を担った生徒も、資料の準備、参加者への連絡、当日進行役などを通じて、模擬国連への理解がより深まったと感じたようです。どちらにとっても実りのある企画となりました！

6月

大妻女子大学で行われた、春の模擬国連定例会議に6ペアが出場しました！

議題は「ルワンダ情勢」について。ルワンダという国で起こった歴史的悲劇について、各国の立場から意見を表明し、国際平和を目指すための会議です。この会議で初めて本格的な模擬国連に参加したペアがほとんどの中、事前リサーチの大変さ、会議当日の行動の難しさを痛感した厚高もぎこっかーたち。しかし、同時に模擬国連を通じてルワンダという国で起きた悲劇に胸を痛め、国際平和のためにどのような行動を取るべきか、各国大使の視点から考えるきっかけは、まさに life-changing な体験だったようです。



8月

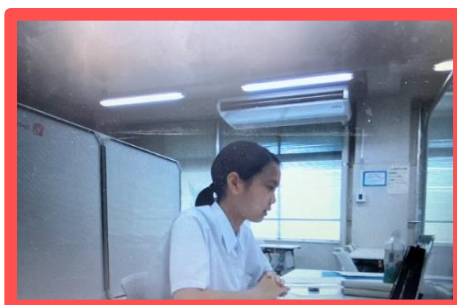
毎年 600 人を超える生徒が参加する最大規模の高校生による高校生のための模擬国連「全日本高校教育模擬国連 (AJEMUN)」に 5 ペア 11 人が出場しました！さらに、今年は運営側にも 1 名が立候補し、Background Guide (BG) と呼ばれる、議題理解のための事前学習ガイドの作成と、当日の議長も務めることになりました！（これ、すごく大変で重要な任務です。）

議題は「薬剤耐性菌への対応」について。今まで考えたこともなかったテーマでしたが、この会議をきっかけにコロナパンデミックについて顧み、今後の薬剤使用における注意や世界が直面しうる脅威とその予防策を学べたようです。ちなみに、後日読売新聞社主催の「薬剤耐性菌 (AMR) を知ろう！動画コンテスト」という彼らにとってはタイムリーなコンテストに応募し、見事「優秀賞」を受賞しました！



9月

ついに、今年度の「全日本高校模擬国連」オンライン予選会が開催され、厚高からも AJEMUN の結果を踏まえて選抜された 2 ペアが出場しました！議題は「安保理改革」について。過去 2 年間、全国大会へ連続して出場を決めているということもあり、経験者からのアドバイスを受けながら、夏休みも準備に勤しみ、並々ならぬ覚悟で予選会に臨んだ 4 名。会議最中は様々なドラマが起き、どうなることかと思いましたが、準備の周到さが功を奏したか、見事 2 ペアとも予選突破！！結果を見て喜びで崩れ落ちた人もいたとかいないとか…。本当にがんばりました！！



そして、「全日本高校模擬国連」本選へ！議題は「軍縮・不拡散・平和構築に向けた若者の教育」について。国連が国際平和に向けて若者のために何ができるかという大きなテーマに、おそらく今までで一番準備に頭を悩ませました。さらに、期末テスト期間と重なっていたこともあり、タイムマネジメントも4人には強いられたと思います。どんなに調べても調べ尽きない情報量に、自信を失いかけるメンバーたち。それでも彼らを突き動かすのは、担当国(今回は Germany と France)の国益を守り、コンセンサス(全会一致)を達成し、会議の目的を果たしたいという強い想いです。当日、2年生ペアはグループでの話し合いに加えて、1国1国との丁寧な交渉ができたという実感があつたり、会議の中で議題への理解が深まって、この大きな問題を模擬国連という場で話し合えた意義を感じたりしたようです。1年生ペアは全日本大会特有のエネルギーの大きさに最初こそ緊張していましたが、議論が進むにつれて会議を楽しんでいる姿すら伺えました。周りの大使とのコミュニケーションやスピーチの完成度を見ると、来年の厚高模擬国連を引っ張っていってくれると確信しました。2ペアとも全力を出せて大使としての役目を全うできたと思います。



生徒からのメッセージ 模擬国連は「出会い」

知らなかった価値観との出会い、知らなかった自分との出会い、そして最高の仲間との出会い。会議を終えてみたら、全く想像もしてしなかつたような自分になっている…そんなところが、模擬国連を大好きな理由です。

WBCで日本を三大会ぶりの優勝に導いた栗山監督が、「一つひとつ全てやりきった結果が、一見すると奇跡に見えるけど、本人は『よくやってきてよかったな』の想い」とおっしゃっていました。最後の模擬国連の時に、リーダーとして文書を書いて提出したとき、この言葉を思い出しました。自分には到底届かないと思っていたことが、確かな実感へと変わったのです。

日本で何一つ不自由なく暮らしてきた一人の高校生が、考えてもみなかつた国の大使になって、考えてもみなかつた正義を知る。その国や議題について知っていくうちに、そこにある妥当な論理に気が付く。本当は臆病で泣き虫の自分が、一国の大使として会議に参加する。国際平和という共通の理念に向けて、立場を超えて対話を積み重ねる。この過程で得られるかけがえのない経験が、私の模擬国連を通じての大切な宝物です。

2 月 浅野会議

会議名	浅野会議 2024
日程	2024 年 2 月 11 日~12 日
議題	占領下の東エルサレムとその他の占領下のパレスチナ領土におけるイスラエルの違反行為 (Illegal Israel actions in Occupied East Jerusalem and the rest of the Occupied Palestinian Territory)
論点	① イスラエル・パレスチナ地域における民間人の人権保護 ② 現状のイスラエル・パレスチナ危機における政治的主体への非難 ③ 短期的視点での武力衝突をやめる要求 ④ 長期的視点でのイスラエル・パレスチナ危機に対する国際社会の方針 ⑤ 今後の第 10 回緊急特別会期に関して
参加人数	1 年生 6 名
担当国	Algeria, Italy, Morocco

4 月 合同練習会議

会議名	厚木・横浜国際主催 新入生・初心者向け練習会
日程	2024 年 4 月 20 日
議題	「1.5°C 目標」の達成に向けた手段の検討
論点	① 火力発電所の削減目標 ② 発展途上国への支援 ③ パリ協定の実行性の確保
参加人数	1 年生 13 名、2 年生 6 名、3 年生 2 名
担当国／運営	Australia, Brazil, China, Denmark, Indonesia, Pakistan, DR Congo, France, India, South Africa, Tuvalu, United Arab Emirates, United States of America, Chair, Director, Secretary, Supervisor
BG	春の練習会議 2024_BG.pdf
会議報告書	会議報告書 2024.pdf

6 月 大妻・渋沢会議

会議名	合同模擬国連〈2024 年 6 月〉
日程	2024 年 6 月 9 日
議題	ルワンダ情勢 (Rwanda Conflict)
論点	① ルワンダの現状をジェノサイドとして形容するか否か ② PKO の展開による短期的な対応について

	③ 国連の平和構築活動による長期的な対応について
参加人数	1 年生 10 名、2 年生 2 名
担当国	Switzerland, Nepal, Philippines, Georgia, Malawi

8 月 AJEMUN

会議名	第 8 回全国高校教育模擬国連大会 (AJEMUN)
日程	2024 年 8 月 6 日~7 日
議題	薬剤耐性菌への対応 (Response to Antimicrobial Resistance)
論点	① 薬剤耐性菌への対応 ② 薬剤耐性菌によるパンデミックの対応
参加人数	1 年生 19 名、2 年生 3 名
担当国 ／運営	Afghanistan, Cuba, Dominica, India, Mali, BG 担当兼 E 議場 Chair/Director
BG	https://48326cca-8373-4cb9-bf2c-2a28b2c91155.filesusr.com/ugd/b2fa31_5770cf6d0d8e4a2b90fd4d30a071b231.pdf

9 月 全日本・予選会

会議名	第 18 回全日本高校模擬国連大会・予選会
日程	2024 年 9 月 7 日, 8 日
議題	国連安全保障理事会改革 (The question of equitable representation on and increase in the membership of the Security Council and other matters related to the Council)
論点	① 安全保障理事会の議席と透明性の拡大について ② 安全保障理事会の作業方法の改善について
参加人数	2 年生 2 名、1 年生 2 名
担当国	Pakistan, Switzerland
BG	https://jcgcmun.org/wp-content/uploads/2024/08/ajhsmun_18_BG_v3.pdf

11 月 全日本・本大会

会議名	第 18 回全日本高校模擬国連大会・本大会
日程	2024 年 11 月 16 日~17 日
議題	若者と軍縮、不拡散と平和 (Youth for Disarmament, Non-Proliferation and Peace)

論点	① 軍縮・不拡散・平和構築に向けた若者の教育 ② 紛争解決、平和構築における若者のインクルージョン
参加人数	1 年生 2 名、1 年生 2 名
担当国	France, Germany
BG	https://jcg-c-mun.org/wp-content/uploads/2024/10/ajhsmun_18_BG_v1.pdf

12 月 大妻・渋渋会議

会議名	模擬国連会議〈2024 年 冬 忘年会議〉
日程	2024 年 12 月 26 日~27 日
議題	海洋の保全と持続可能な利用のためのグローバル行動計画 (Global Action Plan for Ocean Conservation and Sustainable Use)
論点 (ゴール)	① 海洋プラスチック、排水／廃水という汚染源を低減する。 ② 海洋酸性化と海洋温暖化を食い止める。 ③ 過度な、または環境に悪影響を与える海底採掘や海洋開発を止める。 ④ 全ての国と人が海洋科学技術を使えるように、協力体制を構築する。 ⑤ 持続可能な漁業管理を実行する。
参加人数	1 年生 5 名
担当国	Singapore, South Africa

2 月 浅野会議

会議名	浅野会議 2025
日程	2025 年 2 月 23 日~24 日
議題	地球外生命体の渡来に対する国際社会の対応 (Global Response to the Arrival of Extraterrestrial Entities)
論点	① 地球外生命体の受け入れ方 ② 地球外生命体との関わり方 ③ 地球外生命体との今後の関わり方に関して
参加人数	1 年生 2 名
担当国	Belgium